

第5回



健康寿命を
のばそう！
AWARD
優秀賞

プロジェクト

健康関連データの経年分析に基づく、 生活習慣病予防の新戦略策定と医療費の適正化達成

受賞者

株式会社内田洋行／内田洋行健康保険組合

所在地 〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル

電話 03-5646-6695

URL <http://www.uchidakenpo.or.jp/index.html>E-mail nakaie@uchida.co.jp

取組・事業実施目的

会社の財産は「人」！ 健康寿命延伸に向け、健保財政・保健事業の大改革

当健保の事業主であるウチダグループは、会社の「人材」を「人財」と位置付けています。健康を失うと「仕事」も、そして大切な「家族との幸せな生活」も失う危険にさらされます。

当健保は、加入者の健康保持増進・健康寿命延伸のためには健康づくりが必須と考え、2013年度から、(株)ミナケアと連携し、レセプトおよび健診データを経年分析し、課題の「見える化」に取り組みました。2013年度のデータ分析の結果、生活習慣病のハイリスク者109名の存在が明らかになりました。そこで「Team109」と題し、プッシュ型保健事業管理ツールUCHIDA元気LABOを活用して、保健師によるハイリスク者へのアプローチを実施したところ、継続リスク者が72名減少し、37人に激減しました。しかし、経年データ分析の結果、同一年度内に新規リスク者が57名も増加し、2014年度のリスク者は計94名、つまり、継続リスク者を減らしても、新規にリスク者が出現する「イタチごっこ」になっていることが判明したのです。ここからの脱却を目的に、新戦略を策定しました。



取組・事業の概要と特徴

「イタチごっこ」から抜け出せ！ 生活習慣病予防の新戦略策定

「イタチごっこ」脱却に向け、これまでの保健師によるハイリスク者へのアプローチ(H)に加え、新たに事務職などが情報発信などのポピュレーションアプローチ(P)を行う「H&P」戦略を打ち出しました。これにより、既存のハイリスク者を減らし、かつ、新規ハイリスク者を減らす作戦です。

さらに、2015年度には新たな戦略として健康づくりの基本である「運動促進」「食事コントロール」「睡眠+生活習慣データ測定」に加えて、「ICT面談」「脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクの測定」「若年者向けNoomアプリ(カラダ改善プログラム)」「歯科医師による予防歯科」「禁煙支援」を実施しました(参照:当健保HP「新たな健康増進プログラム」)。

これらの戦略が功を奏し、2015年度には人工透析リスク者が67%減少、血糖ハイリスク者が50%減少しました。さらに、2年間継続在籍者の生活習慣病の入院医療費が14%減少、入院一人当たり医療費が20%減少、腎不全の医療費が27%減少しました。

健康寿命をのばすポイント

三位一体で、ハイリスク&ポピュレーションアプローチを強化！

これらの戦略は、厚生労働省データヘルス計画モデル事業「先進的な保健事業の実証」に採択されたものでもあり、モデル事業として、いち早くPDCAサイクルをまわす道しるべを得られたことは、健保スタッフ全員の団結力につながりました。

保健師と事務職のチームワークで、ハイリスク&ポピュレーションアプローチを強化したことで、ハイリスク保有者数減少、医療費適正化を実現できました。とくに入院医療費の減少は、重症化を防ぎ、健康寿命を延ばすことに寄与できたと考えています。

また、事業所の健保担当者を集めた「UCHIDA健康会議」の開催、グループ会社社長への健康経営プレゼンを実施することで、事業所と健保で課題を共有し、共通理解につながりコラボヘルスの推進が実現しました。事業参加者の確保など事業所の協力が得られたことは、事業を実施するうえで大きなポイントとなっています。今後も、「事業主」「労働組合」「健保」の三位一体で、健康寿命延伸に取り組んでまいります。

